



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 プレミアグループ株式会社

コード番号 7199 URL <https://www.premium-group.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）柴田 洋一

問合せ先責任者 （役職名）取締役 執行役員 CFO （氏名）金澤 友洋 TEL 03-5114-5701

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,174	18.2	2,514	58.6	2,524	47.8	1,744	43.4	1,742	43.5
2026年3月期第1四半期	10,296	18.7	1,585	△13.1	1,707	△9.0	1,216	△4.7	1,214	△4.7

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1,755	42.4	44.88	44.79
2026年3月期第1四半期	1,232	△6.5	31.93	31.80

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	195,315	25,570	25,551	13.1
2026年3月期	198,965	25,295	25,270	12.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	27.00	-	27.00	54.00
2027年3月期	-				
2027年3月期（予想）		32.00	-	32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	51,000	15.8	10,600	23.0	6,900	13.6	6,900	13.7	178.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	40,722,663株	2026年3月期	40,710,663株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,078,734株	2026年3月期	1,825,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	38,817,819株	2026年3月期1Q	38,030,836株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 決算に関する詳細情報は、本日公表の決算説明資料にて記載しておりますので、併せてご覧ください。
決算説明資料はこちらから <https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/presentation.html>
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）におけるわが国経済は、国内では高水準な賃上げや労働需要の拡大を背景に、雇用及び所得環境の改善が続き、全体として緩やかな回復基調で推移しました。一方で、先行きについては、米国等における高金利の長期化や、為替市場の変動に加え、中東情勢の緊迫化を背景としたエネルギー価格や原材料価格の高止まり等が懸念されております。これらの物価上昇圧力による生活防衛意識の高まりが、個人消費へ与える影響等について引き続き注視が必要であり、依然として不確実性の高い状況が続いております。このような経済環境下、当社グループの主要ターゲットである中古車市場におきましては、2026年4月から2026年6月までの普通乗用車及び小型乗用車、軽四輪乗用車を合算した国内の中古車登録台数が1,321,722台（前年同期比0.1%減）となり、概ね前年同期並みの結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）

当社グループは、法改正を含む外部経営環境の変化に応じたコンプライアンスの徹底を前提として、「世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、豊かな社会を築き上げることに貢献します」「常に前向きに、一生懸命プロセスを積み上げることのできる、心豊かな人財を育成します」というミッションの実現を目指し、主要取引先である自動車販売店や自動車整備工場に対して、クレジット、故障保証に加え、「クルマ」に関する様々な工程において活用いただけるオートモビリティサービスを複合的に提供することで取引接点を拡大し、業容・収益の成長を加速させるとともに、新たな成長モデルの実現に向けた様々な取り組みに挑戦しております。

当第1四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。なお、セグメント別の営業収益については、セグメント間収益を除く外部収益を表記しております。

ファイナンス事業は、自動車販売店の有料会員（カープレミアクラブ会員）の堅調な増加等を背景にクレジット取扱高がプラス成長へと回復し、クレジット債権残高の着実な積み上がりにつながった結果、営業収益は6,366百万円（前年同期比9.8%増）となりました。また、システム障害の影響で増加していた延滞債権残高率も順調に改善しており、正常化に向けて着実に推移しております。さらに、前年同期に発生したシステム障害に伴う対応費用の収束に加え、適切なコスト管理が奏功した結果、営業利益は1,380百万円（前年同期比63.6%増）となりました。

故障保証事業は、自動車販売店の有料会員（カープレミアクラブ会員）化による顧客基盤の強化等が寄与し、営業収益は2,327百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は419百万円（前年同期比16.9%増）となりました。なお、国内においては、インフレに伴う故障保証原価の増加に対応するため価格改定を実施したものの、値上げ効果の浸透にタイムラグが生じたことで原価上昇の吸収が追いつかず、採算性は前年同期に比べて低下いたしました。今後は、トップラインの拡大と、グループ子会社からの部品調達による原価抑制を通じて、利益率の回復を目指してまいります。

オートモビリティサービス事業は、自動車販売店及び自動車整備工場の有料会員（カープレミアクラブ会員）の継続的な増加による会費収益の伸び（前年同期比39.6%増）や、車両販売の大幅な増加等が寄与した結果、営業収益は3,475百万円（前年同期比39.8%増）となりました。また、営業収益の大幅な伸長に加え、前年同期の利益水準が低かったことの反動や営業費用の抑制も寄与し、営業利益は722百万円（前年同期比173.9%増）となりました。

営業費用は、前年同期に発生したシステム費用の減少に加え、事業拡大に伴う各種費用の増加を抑えた結果、9,661百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は12,174百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は2,514百万円（前年同期比58.6%増）、税引前四半期利益は2,524百万円（前年同期比47.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,742百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,650百万円減少し、195,315百万円となりました。これは主に、金融債権が3,773百万円増加したこと、現金及び現金同等物が5,550百万円、その他の資産が1,817百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,925百万円減少し、169,745百万円となりました。これは主に、借入金が2,100百万円、未払法人所得税が1,228百万円、その他の金融負債が1,037百万円減少したこと等によるものです。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、25,570百万円となりました。これは主に、利益剰余金が692百万円、自己株式が476百万円増加したこと等によるものです。親会社の所有者に帰属する持分合計は前連結会計年度末に比べ281百万円増加し、25,551百万円となりました。

②キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動による支出1,076百万円（前年同期は12,723百万円の支出）、投資活動による支出646百万円（前年同期は301百万円の収入）及び財務活動による支出3,831百万円（前年同期は18,251百万円の収入）でした。この結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は20,548百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は1,076百万円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期利益2,524百万円、その他の資産の減少額1,348百万円であり、支出の主な内訳は、金融債権の増加額3,770百万円、その他の金融負債の減少額764百万円、その他の負債の減少額623百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は646百万円となりました。収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入75百万円であり、支出の主な内訳は、貸付金貸付による支出394百万円、無形資産の取得による支出182百万円、差入保証金の差入による支出161百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は3,831百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入金の借入による収入4,066百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出6,174百万円、配当金の支払額1,010百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。現時点において、2026年5月11日の「2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金及び現金同等物	26,111	20,561
金融債権	91,122	94,895
その他の金融資産	10,150	9,783
有形固定資産	5,046	4,775
無形資産	8,697	8,663
のれん	4,197	4,197
持分法投資	4,894	4,909
繰延税金資産	424	538
保険資産	32,681	33,170
その他の資産	15,642	13,825
資産合計	198,965	195,315
負債の部		
金融保証契約	56,913	57,578
故障保証前受収益	9,247	9,501
借入金	85,009	82,909
その他の金融負債	13,390	12,353
引当金	468	482
未払法人所得税	1,716	488
繰延税金負債	899	1,259
その他の負債	6,028	5,175
負債合計	173,670	169,745
資本の部		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,817	1,827
資本剰余金	2,574	2,609
利益剰余金	22,204	22,896
自己株式	△2,303	△2,779
その他の資本の構成要素	977	998
親会社の所有者に帰属する持分合計	25,270	25,551
非支配持分	24	19
資本合計	25,295	25,570
負債及び資本合計	198,965	195,315

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	10,296	12,174
営業費用	8,711	9,661
営業利益	1,585	2,514
持分法による投資利益	29	24
その他の金融収益	108	32
その他の金融費用	14	46
税引前四半期利益	1,707	2,524
法人所得税費用	491	780
四半期利益	1,216	1,744
四半期利益の所属		
親会社の所有者	1,214	1,742
非支配持分	2	2
四半期利益	1,216	1,744
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.93	44.88
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.80	44.79

（3）要約四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期利益	1,216	1,744
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	△1
持分法によるその他の包括利益	17	11
税引後その他の包括利益	16	11
四半期包括利益	1,232	1,755
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,238	1,761
非支配持分	△6	△6
四半期包括利益	1,232	1,755

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	の構成要素
					新株予約権
2025年4月1日残高	1,700	1,585	17,949	△3,046	273
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	1,214	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	1,214	-	-
所有者との取引額等					
配当金	-	-	△761	-	-
株式に基づく報酬取引	-	25	-	3	11
所有者との取引額等合計	-	25	△761	3	11
2025年6月30日残高	1,700	1,610	18,403	△3,043	284

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	持分法によるその他の包括利益	在外営業活動体の換算差額	計			
2025年4月1日残高	462	0	734	18,923	26	18,948
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	-	1,214	2	1,216
その他の包括利益	17	7	24	24	△7	16
四半期包括利益合計	17	7	24	1,238	△6	1,232
所有者との取引額等						
配当金	-	-	-	△761	-	△761
株式に基づく報酬取引	-	-	11	39	-	39
所有者との取引額等合計	-	-	11	△721	-	△721
2025年6月30日残高	478	7	769	19,440	20	19,460

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	の構成要素
					新株予約権
2026年4月1日残高	1,817	2,574	22,204	△2,303	251
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	1,742	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	1,742	-	-
所有者との取引額等					
新株の発行	10	10	-	-	△5
自己株式の取得	-	△0	-	△479	-
配当金	-	-	△1,050	-	-
株式に基づく報酬取引	-	25	-	4	7
所有者との取引額等合計	10	35	△1,050	△476	2
2026年6月30日残高	1,827	2,609	22,896	△2,779	253

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	持分法によるその他の包括利益	在外営業活動体の換算差額	計	合計	非支配持分	資本合計
2026年4月1日残高	725	2	977	25,270	24	25,295
四半期包括利益						
四半期利益	－	－	－	1,742	2	1,744
その他の包括利益	11	7	19	19	△8	11
四半期包括利益合計	11	7	19	1,761	△6	1,755
所有者との取引額等						
新株の発行	－	－	△5	14	－	14
自己株式の取得	－	－	－	△479	－	△479
配当金	－	－	－	△1,050	－	△1,050
株式に基づく報酬取引	－	－	7	35	－	35
所有者との取引額等合計	－	－	2	△1,479	－	△1,479
2026年6月30日残高	736	9	998	25,551	19	25,570

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,707	2,524
減価償却費及び償却費	534	514
その他の損益	148	357
金融債権の増減額(△は増加)	△2,823	△3,770
金融保証契約の増減額(△は減少)	△4,119	665
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△112	811
その他の金融負債の増減額(△は減少)	△3,556	△764
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,797	1,348
その他の負債の増減額(△は減少)	444	△623
持分法による投資損益(△は益)	△29	△24
その他	△130	△18
小計	△10,732	1,020
利息の受取額	3	4
利息の支払額	△185	△381
配当金の受取額	12	48
法人所得税の支払額	△1,823	△1,767
法人所得税の還付額	1	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,723	△1,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10	△72
有形固定資産の売却による収入	343	75
無形資産の取得による支出	△140	△182
投資有価証券の取得による支出	△0	△2
持分法投資の取得による支出	-	△1
貸付金貸付による支出	△19	△394
貸付金回収による収入	41	5
差入保証金の差入による支出	△35	△161
差入保証金の回収による収入	121	89
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	301	△646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	1,000	-
短期借入金の返済による支出	△500	-
長期借入金の借入による収入	22,708	4,066
長期借入金の返済による支出	△3,921	△6,174
リース負債の返済による支出	△321	△263
自己株式の取得による支出	-	△479
新株予約権の行使による収入	-	15
配当金の支払額	△734	△1,010
その他	18	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,251	△3,831
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,829	△5,552
現金及び現金同等物の期首残高	17,147	26,099
現金及び現金同等物の為替換算による影響	1	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,977	20,548

- （6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する全般的情報

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ファイナンス事業」、「故障保証事業」及び「オートモビリティサービス事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は、以下になります。

「ファイナンス事業」は、主にお客様が商品やサービスを購入する際に、分割払いができる金融サービスを提供するクレジット事業及び債権回収サービスから構成されております。

「故障保証事業」は、お客様が当社グループの提携先を通じて自動車を購入し、保証サービスの提供を希望される場合、一定の保証料をお支払いいただくことで、購入された自動車に故障が発生した際、あらかじめ定めた保証の提供範囲内において、無償で修理が受けられる「故障保証」サービスから構成されております。

「オートモビリティサービス事業」は、自動車流通事業を運営するうえで必要とされる複数のサービス（会員制ネットワーク事業、オートリース事業、自動車卸販売、自動車部品の販売及びソフトウェア販売等）の提供を行う「オートモビリティサービス」を中心に構成されております。

当社グループは、当社取締役会が使用する事業セグメントへ、資産及び負債を配分しておりません。

（2）報告セグメントごとの利益または損失

当社グループのセグメント別の各損益は、基本的に連結財務諸表の作成基礎と同様の方法で作成しております。調整額及び全社は、主にセグメント間の内部取引消去であります。なお、セグメント間の内部取引価格は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額及 び全社 (注)	連結
	ファイナンス	故障保証	オート モビリティ サービス	計		
収益						
外部顧客からの収益	5,797	1,889	2,485	10,171	125	10,296
セグメント間収益	132	1	411	543	△543	-
計	5,929	1,889	2,896	10,714	△418	10,296
セグメント損益						
営業利益(△損失)	843	358	264	1,465	119	1,585
その他の項目						
金融収益	4,843	-	283	5,126	△106	5,020
(内、金利収益)	858	-	283	1,141	△3	1,138
金利費用	120	-	109	229	-	229
減価償却費及び償却費	365	64	94	524	10	534

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額及 び全社 (注)	連結
	ファイナンス	故障保証	オート モビリティ サービス	計		
収益						
外部顧客からの収益	6,366	2,327	3,475	12,168	6	12,174
セグメント間収益	167	24	660	852	△852	-
計	6,534	2,352	4,135	13,020	△846	12,174
セグメント損益						
営業利益(△損失)	1,380	419	722	2,521	△7	2,514
その他の項目						
金融収益	5,193	-	352	5,545	△137	5,409
(内、金利収益)	913	-	352	1,265	△2	1,264
金利費用	179	-	158	337	△0	336
減価償却費及び償却費	364	51	87	502	11	513

(注) 「調整額及び全社」は、主にセグメント間取引消去であります。

営業利益から税引前四半期利益への調整表

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業利益	1,585	2,514
持分法による投資利益	29	24
その他の金融収益	108	32
その他の金融費用	14	46
税引前四半期利益	1,707	2,524

（重要な後発事象）

該当事項はありません。